

第 1 号通信

研究報告申込要領

(2025 年 6 月 20 日)

日本広告学会
第 56 回全国大会ご案内
〔研究報告申し込みのご案内〕

大会統一論題
広告コンクールに学ぶ広告のあるべき姿

日本広告学会第 56 回全国大会
主催校 産業能率大学（自由が丘キャンパス）

2025 年 12 月 5 日（金）～7 日（日）

大会運営委員長 産業能率大学 高畑泰
大会運営委員会事務局 産業能率大学 経営学部 高畑泰研究室
〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15
電話：080-7175-5374
e-mail：Jaa56.sanno@gmail.com

ご挨拶

第56回全国大会の開催にあたり、皆様にご挨拶申し上げます。今回の大会では、「広告コンクールに学ぶ広告のあるべき姿」というテーマを掲げております。広告に対する消費者のイメージが悪化している現状を踏まえ、各種広告コンクールの意義や役割を議論することで、広告の本来あるべき姿や広告の未来を考える新たな視点を見つける機会になればと考えております。

日本広告学会は、わが国における広告研究の中心的な存在であり、全国大会は1年に1度、広告研究者が一堂に会して議論する貴重な研鑽と情報交換の場です。本年度の全国大会は、自由が丘にある産業能率大学を主催校として開催されることとなりました。最寄りの自由が丘駅は東急東横線の主要駅の一つであり、アクセスは比較的しやすい場所かと思います。多くの方にご参加いただけたなら、より価値のある場となるかと存じます。産業能率大学のキャンパスで皆様をお迎えできることを大変嬉しく思っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2025年5月31日

日本広告学会第56回（2025年度）全国大会 大会運営委員長
高畑泰（産業能率大学経営学部）

1. 大会統一論題（大会テーマ）：広告コンクールに学ぶ広告のあるべき姿

消費者の広告忌避現象、広告詐欺事件など、昨今の広告をめぐる話題はネガティブなものが多く、広告という言葉自体に対する消費者・生活者のイメージも悪化の一途を辿っているように思われます。実際に、広告論やマーケティング論を専攻する大学生の研究に登場する広告は「嫌われ者」「邪魔者」として扱われることが少なくありません。若者の多くにとって、広告は無料で動画を見たりゲームをしたりするために支払わなければならない代償なのかもしれません。

こうした状況を背景に、広告関連業界、広告関連学会でも広告の定義を問い直す機運が高まっています。私たちの社会に必要な制度・行為としての広告とは何であり、何ではないのか、どうあるべきであり、どうあるべきではないのか。

こうした問題への一つのアプローチとして、国内外で開催されているさまざまな広告コンクールにおける評価のあり方やそこで高く評価される作品の特徴などを議論することは有効であると思われます。それは、広告コンクールが、優れた広告作品を選び称えるだけでなく、それを広く世に知らしめることを目的としているからです。つまり、そこで顕彰される作品は、単なる広告主のコミュニケーションの道具ではなく、その受け手や社会にとっても価値あるものでなければなりません。

実際に、広告コンクールの入賞作品を見せるとほとんどの若者が好意的な反応を見せます。私たち広告研究・実務に携わる者たちがかつて魅力を感じた広告は、今でもコンクールで顕彰されており、その輝きは損なわれてはいません。こうした広告は「嫌われ者の広告」とは似て非なるものであり、逆に「嫌われ者の広告」こそ、広告の名を借りた別物と言うこともできるでしょう。このことは、いかに「広告効果」が高かろうと、そうした広告がコンクールで顕彰されることはもちろん、エントリーすらされないことから明らかです。そこには厳然とした境界線があるはずです。この境界線を言語化すること、それが今回の統一論題の目論見の根底にあるもので

す。代表的・特徴的な広告コンクールの主催者や審査員を交えて、どのような広告が評価されるべきなのかを議論することで、広告のあるべき姿を探っていきたいと考えています。

2. 日程（すべて対面開催）

2025 年 12 月 5 日（金）、6 日（土）、7 日（日）

- ・ 12 月 5 日（金）：理事会、各種委員会
- ・ 12 月 6 日（土）：基調講演、シンポジウム、会員総会、懇親会等
- ・ 12 月 7 日（日）：自由論題報告、研究プロジェクト報告、ワークショップ等

3. 会場

産業能率大学 自由が丘キャンパス

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15

（東急東横線・大井町線、自由が丘駅正面口より徒歩 13 分。）

注意：キャンパスの周辺は住宅街となっております。近隣には外食・宿泊施設等はありませんのでご了承ください。キャンパス内に飲食スペースがございますので、昼食は各自でお弁当などをお持ちいただけますようお願いいたします。

4. 研究報告のお申込み

本大会の研究報告はすべて自由論題報告であり、広告理論および実務のさまざまな分野からの、自由なテーマでの研究を募集します。報告カテゴリーはレギュラーセッションとショートセッションの 2 つです。この 2 つのカテゴリーの違いは下表の通りです。

	レギュラーセッション	ショートセッション
報告時間（質疑含む）	30分	15分
『大会報告要旨集』への 原稿提出	要	不要
『広告科学』への報告 記録掲載	あり	なし（タイトル・報告者一覧のみ掲載）
報告内容	一定の学術的研究成果を得られた研究	事例・実態報告、研究課題・アイデアの 提示なども可。ただし、将来的な研究成果 を見込んだ報告であること。

なお、研究報告の要領は以下の通りです。

- (1) 報告者の資格：本年度までの年会費を 8 月 10 日（日）までに納入済みの日本広告学会正会員、名誉会員、および正会員や名誉会員を含むグループ。グループの場合、第一著者は正会員あるいは名誉会員に限ります。第一著者の正会員・名誉会員が登壇すれば、非会員の登壇も妨げません。
- (2) 報告件数：1 人 1 件。なお、共同研究で第一著者でない場合は、複数件の報告を妨げません。共同研究の場合、第一著者は必ず報告してください。第二著者以降の報告は任意です。

(3) 報告予定数：レギュラーセッション、ショートセッション合わせて15件程度を予定していますが、応募状況により変更することがあります。

(4) 報告申込件数：下記研究報告申込フォームに必要事項をご記入してお申し込みください。
郵送、メールおよびFAXでの申し込みはできませんのでご注意ください。

<https://forms.gle/718Jm3rWAcQxVSpw7>



・申込期限：2025年8月17日（日）23時59分まで。

・その後、レギュラーセッションお申し込みの方には『大会報告要旨集』原稿（A4用紙4ページ程度）を、9月14日（日）23時59分までにご提出いただきます。その作成要領は、6月中を目処に学会ホームページよりダウンロードできるようにいたします。なお、ショートセッションは『大会報告要旨集』原稿の提出は必要ありません。

(5) 報告者の決定：プログラム委員会が、レギュラーセッションの場合は『大会報告要旨集』原稿を、ショートセッションの場合は研究報告申込書の「報告概要」を検討し決定いたします。結果は、応募された会員宛に、9月下旬までに通知いたします。

5. 今後の予定

2025年10月上旬に、第2号通信にて大会プログラム、大会参加申込手続き、大会参加費などをご案内する予定です。

6. 第56回（2025年度）全国大会企画運営体制

□大会運営委員

委員長 高畑泰（産業能率大学）

副委員長 加藤肇（産業能率大学）

委員 小々馬敦（産業能率大学）

□プログラム委員

委員長 芳賀康浩（青山学院大学）

副委員長 高畑泰（産業能率大学）

委員（50音順）

田部溪哉（日本大学）、藤崎実（東京工科大学）、村上拓也（日経広告研究所）

□大会運営事務局

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15

産業能率大学 経営学部 高畑泰研究室

電話：080-7175-5374

e-mail：Jaa56.sanno@gmail.com ※56とsannoの間に（ドット）が入ります。

※大会に関するお問い合わせは、大会運営委員会事務局宛にお寄せください。できる限りメールにてご連絡いただくと幸いです。